

# 企業のための ボルネオ森林保全研修

<http://www.gef.or.jp/news/info/2018forest-tour/>

日本企業の方に、持続可能な森林経営や生物多様性の保全に資する森林再生に関する理解を深めていただくための研修ツアーを実施します。マレーシアのボルネオ島サバ州のアブラヤシ農園開発が進む地域において、熱帯林の保全活動と持続可能な森林経営の現場を視察し、現地の団体や企業、行政機関との意見交換会などを行います。（環境省事業「H30年持続可能な森林経営のためのパートナーシップ構築委託業務」の一環として実施します。）

## 研修地

マレーシア・サバ州キナバタンガン川流域バトゥ・プティ地区

全行程で日本語  
通訳がつきます

## 研修日程

2019年1月10日(木)～15日(火)朝 成田着

## 対象

日本国内に本社を置く企業の担当者  
(事後報告会(2月上旬)の参加が可能であること)

## 募集人数

10名程度 (原則1社1名まで)

## 参加費用

- 自己負担: 日本発着国際線往復航空運賃  
海外旅行保険  
飲食費その他個人的費用(約10万円)
- 環境省負担: 現地での移動費  
宿泊費他プログラム実施にかかる費用

## 応募方法

申込書類をEメールにて提出  
詳細: <http://www.gef.or.jp/news/info/2018forest-tour/>  
締切: **11月22日(木) 16時**

## プログラム (予定)

1/10 (木)	1日目	午前成田発(クアラルンプール経由)コタキナバル着
1/11 (金)	2日目	コタキナバルから陸路バトゥプティ地区へ移動 途中キナバル山を望む展望台やローカルマーケット視察 バトゥプティ泊(ホームステイ)
1/12 (土)	3日目	バトゥプティの森林保全活動視察、植林体験 リバークルーズで野生動物観察 バトゥプティ泊(エコキャンプ)
1/13 (日)	4日目	持続可能な森林経営の解説 FSC認証林の視察 陸路コタキナバル方面へ サバ・ティーガーデン泊(ロングハウス)
1/14 (月)	5日目	陸路コタキナバルへ移動 野生生物局との意見交換 コタキナバル発(クアラルンプール経由)
1/15 (火)	6日目	早朝成田着



一般財団法人地球・人間環境フォーラム  
Global Environmental Forum

【問合せ・申込み】 一般財団法人地球・人間環境フォーラム (担当: 飯沼)  
<http://www.gef.or.jp/> TEL: 03-5825-9735 Eメール: [iinuma@gef.or.jp](mailto:iinuma@gef.or.jp)

# 企業のための海外森林保全研修

## 【研修概要】

ボルネオ島は生物多様性が世界でも最も豊かな場所の一つです。その生物多様性を支えてきた熱帯林は、過剰な木材生産やアブラヤシ農園開発により急速に減少していますが、サバ州政府は持続可能な森林経営の実現を目指し、FSC認証を受けた森林面積を拡大するとともに、熱帯林とそこに生息するオランウータンやゾウなどの野生動物を観察するエコツアーにも力を入れています。

本研修は、日本の企業の皆様に熱帯林の保全活動と持続可能な森林経営の現場を視察していただき、現地でプロジェクトを実施する団体や企業、管轄する行政機関との意見交換会などを通じて、持続可能な森林経営や生物多様性の保全に資する森林再生に関する理解を深めていただくことを目的としています。

活動内容は、マレーシアのボルネオ島サバ州、株式会社サラヤが支援しているボルネオ保全トラスト(BCT)の活動地バトアップティ地区で、森林再生の現場を視察し、実際に植林体験を行います。また、国際森林認証FSCの認証林を視察し、熱帯林における持続可能な森林経営の現状と課題についてお話を聞きます。

最終日はサバ州の生物多様性や国立公園を管轄するサバ州野生生物局等を訪問し、サバ州における森林と生物多様性に関する問題や、日本企業による森林保全活動の意義や課題について、意見交換を行います。

## 【主な訪問先・団体等(予定)】

### ①バトアップティ・コミュニティ・エコツーリズム共同組合

・キナバタンガン川下流域の森林と生物多様性の保全と、地域住民の生計向上の両立を目指し、1997年結成。  
・オランウータン等の生息環境再生のための植林事業や外来種の除去などに取り組み、エコツアーではホームステイやリバークルーズ、ナイトウォーク、植林体験等、地域の環境を体験的に学ぶプログラムを提供。

### ②ピン・スプ森林保護区：

・1984年に原生林保護区に指定され、2015年にFSC認証取得(Pin Supu Forest reserve- 4,620ヘクタール)。  
・サバ州最大の河川キナバタンガン川流域のFSC認証林。

### ③サバ州野生生物局

・マレーシア・ボルネオ島の森林は、連邦政府ではなくサバ州とサラワク州がそれぞれ個別に管轄。  
・サバ州は生物多様性の保全に力をいれ、担当の野生生物局はボルネオ保全トラストなどのNGOとも密接に連携を実施。

## 【同行者】

安間繁樹氏：動物生態学者 著書に『ボルネオ島アニマル・ウォッチングガイド』『ボルネオ島最奥地をゆく』等  
中西宣夫氏：サラヤ株式会社、ボルネオ保全トラスト理事

## 【応募方法】

参加条件、研修内容等をご確認の上、申込書類(申込書、経歴書、応募調査票、パスポートのコピー)に必要な事項を記入し、申込先までメール添付にてお送りください。※申込書類は、下記地球・人間環境フォーラムWebサイトよりダウンロードできます。

<http://www.gef.or.jp/news/info/2018forest-tour/>

※まずはお電話にてお問合せください。

※メール送信後、3日以内に連絡が無い場合は、お問合せください。

※個人情報は本事業でのみ使用します。

## 【審査】

申込多数の場合、申込書類を元に本事業の主旨に照らし審査の上、決定します。

## 【決定】

11月30日(金)までに、応募者にご連絡いたします。

## 【事前説明会】

12月上旬で調整します。平日19~20時都内にて開催。

※参加者の方は可能な限りご参加ください。

## 注意事項：

このツアーでは、ホームステイやエコキャンプ(電気無し)など観光ツアーとは異なる宿泊先を利用します。ホットシャワーが無いなど不便な点もあることをあらかじめご理解の上、お申込みください。

